

特集

海を越えてつながる、松浦とモンゴル
歴史をきっかけに生まれた交流を、未来へ

本市とモンゴル国との交流には、蒙古襲来（もうこしゅうらい）という歴史的なつながりがあります。

旧鷹島町とモンゴル国ホジルト郡は、平成3年に姉妹都市提携を結び、令和6年にはホジルト郡にて交流再開の調印を行い、さまざまな交流を重ねてきました。

現在では、姉妹都市交流に加え、文化財の保存・研究などへ交流の分野が広がっています。

8月には本市訪問団がモンゴル国を訪問し、10月にはモンゴル国ホジルト郡から保育実習生が本市を訪れました。

同じ時間を過ごし、一緒に楽しむ。

そこには、国や言葉の違いを越えて通じ合えるものがありました。

今回は、モンゴル国との交流についてご紹介します。

草原で生まれた笑顔の交流

8月、本市訪問団がモンゴル国を訪問しました。

現地では、ホジルト郡の皆さまと意見交換を行い、これまでの交流を振り返るとともに、今後の取り組みについて話し合いました。

また、現地の遊牧民の人たちとの交流では、伝統料理や※シャガイ遊びなど、さまざまな文化に触れることができました。

このほか、モンゴルの雄大な草原では、現地の子どもたちと一緒に絵を描く機会がありました。

言葉が十分に通じなくても、紙と絵があれば自然と笑顔が生まれます。

草原で子どもたちと描いた一枚一枚の絵は、松浦とモンゴルをつなぐ、かけがえのない思い出となりました。


1


2


3


4


5

1_ ホジルト郡・役所前広場での集合写真
2_ ホジルト郡入口門での集合写真
3_ 草原で子どもたちとの絵画交流の様子
4_ ホジルト郡第一幼稚園での交流の様子
5_ 遊牧民との交流の様子（シャガイ遊び）
※モンゴルの伝統的なゲーム

歴史を、未来の交流へ
カラコルム博物館との歴史文化交流

本市では、未来の交流につなげるため、モンゴルの文化財・考古学関係機関との交流を進めています。

今回訪問したカラコルム博物館では、「クビライハーンの艦隊・鷹島海底遺跡」写真展＆特別展が開催されており、松浦市立水中考古学研究センター所長による講演のほか、蒙古襲来の歴史を通じた交流や意見交換を行いました。







1_ カラコルム博物館での集合写真　2_ 写真展＆特別展会場での集合写真　3_ 特別展での講演の様子

ホジルト郡から
保育実習生がやってきました

10月2日から10日にかけて、ホジルト郡から4人の保育実習生が訪れ、市内の4保育施設で実習を行いました。

実習生は、日本の保育について学ぶとともに、子どもたちと触れ合いながら、日々の保育を体験しました。子どもたちにとっても、モンゴルの文化や言葉、遊びなどに触れる貴重な機会となりました。









1_ つきっこ保育園での実習の様子　2_ 今福こども園での実習の様子
3_ 志佐保育園での実習の様子　4_ たのしかこども園での実習の様子

モンゴルってどんな国？

子どもたちのそんな素朴な疑問や興味が、世界に目を向けるきっかけになるかもしれません。

一緒に遊び、笑い、話す。身近な交流を通して、子どもたちが異なる文化に興味を持ち、互いを理解しようとする気持ちを育むことは、これからの国際社会を生きる上でも大切な経験となります。

モンゴルとの交流が、松浦の子どもたちにとって世界を知るきっかけとなり、また、本市の歴史や文化を見つめ直す機会となるよう、これからも交流の輪を広げていきます。